

9月9日は救急の日

命と向き合う現場で

消防士は、火災や交通事故、災害現場などに急行し、火災の消火や人命救助にあたります。消防士の中でも救急車で駆けつけ、応急処置や病院への搬送を行うのが救急隊員で、その中でも特別な処置を行える資格を持つのが救急救命士です。

田原市消防本部では、113人の消防職員のうち30人が、救急救命士として現場で活動しています。

救急救命士は、命の危機に瀕した人に対して最前線に対応する、専門性の高い医療職です。市内には救急車が5台配備されており、すべての出動に救急救命士が同乗できる体制が整えられています。

消防隊の一員として緊急現場に駆けつけ、人命をつなぐ救急救命士たち。高度な医療技術と冷静な判断力で、多くの命を支える彼らの視点から、救急の最前線に迫ります。

救急救命士だけができること

静脈路確保のための輸液や気管チューブなどを使った気道確保、アドレナリンを用いた薬剤投与、血糖測定とブドウ糖溶液の投与など、医師の指示を受けて救急救命処置ができます。

救急救命士として心掛けていること

救急隊は、病院到着までの限られた時間で情報を得て、容態が悪化しないように必要な処置を行い、症状に合わせた治療ができる医療機関を選定し搬送しています。救急現場は、チームワークが大切なため、日頃から救急隊ごとに訓練し、適切な救急活動ができるよう備えています。

救急救命士としてのやりがい

人の命にかかわる仕事なので、人の死に直面することもあります。が、私たちの救命処置で容態が回復し、後遺症もなく社会復帰した姿を見かけた時は、本当に嬉しく、やりがいを感じます。

救急車を呼ぶときには

救急車が必要なときは、不安なことが多いかもしれませんが。気になることは、どうぞ遠慮なく救急隊員に伝えてください。

また、いざという時に役立つ救命の知識を身につけることも大切です。消防署の救命講習で、ケガや病気の応急手当を学べます。ぜひご参加ください。

渥美分署
救急救命士
辻 伸子

【救命士歴】2008年4月～
救命士の指導・育成も
担当している

